

ブラジリアの風

VENTO DE BRASÍLIA

「空の鳥を見なさい」

マタイ6.26



一年の折り返し地点にあって

6月24日の「おはなし大会」をもって、教会の日本語学校の前期授業が終了、息子たちの現地校も同様、一ヶ月の冬休みに入りました。今はゆっくりと子どもと向き合い、散歩やサッカー、絵本よみ、日本語の勉強をしています。

おはなし大会では、約40名の生徒たちが日本語で覚えたスピーチを堂々と発表し、会場からは惜しめない拍手。大使館やJICA（国際協力機構）、ブラジリア大学等から来てくださった審査員の方々も、大変喜んでくださいました。何よりも、日本語学校が日本語を教えるだけでなく、霊的な教育にも力を入れていることに感銘してくださり、信仰のよき証しの場となったことは感謝でした。

個人的には、ポルトガル語の個人レッスンを再開。まだまだ語彙力も理解力も乏しく、スラスラ通訳できるまでには時間がかかりそうですが、日々の積み重ねを怠らず、「昨日よりは今日、今日よりは明日」を目指して励みます。

4月から吉田信一兄弟宅での家庭集会を始めたのですが、6月半ばに吉田さんご自身が脳溢血で左半身麻痺になられ、車イスの生活を余儀なくされています。家族の介助なしには生活できない状況ですが、少しずつ癒され、今日の集会では「一人でトイレに行けるようになって」と声を詰まらせ涙ながらに語ってくださいました。「空の鳥を見なさい」のみことばが、自然に囲まれた農園に住む吉田さんの心に響いたことを感じました。週一回の訪問礼拝は、吉田さんにとって、みことばに心を浸す大切な祈りの時。よく祈り備えて奉仕できますように。

また、教会の兄弟姉妹の各家庭がいろいろな試練に直面しています。教会が守られ、主の栄光が顕わされますように。

「暗やみの中を歩き、光を持たない者は、
主の御名に信頼し、自分の神に拠り頼め。」

イザヤ50.10

2017.7.11 浜田献、陽子

感謝

献金者一覧（2017年4-5月）

播磨キリスト教会、相馬キリスト教会、安城中央キリスト教会、蛍池聖書教会、生駒めぐみ教会、総和キリスト教会、矢作キリスト教会、波崎キリスト教会、松戸福音教会、学園前聖書教会、匿名(2名)（敬称略）

567,200円（累計1,036,009円）

4月5月も、尊い御献金をありがとうございました。諸教会の継続的なご献金に加え、個人的に大口の献金をおささげくださった方々にも、心から感謝申し上げます。日々の必要が備えられ奉仕できる恵みを感謝しております。引き続きご支援、お祈りをよろしくお願いいたします。

* 本年指定献金目標額：200万円

■ 献金先：

郵便振替 00120-5-142886
日本同盟基督教団事務所

「浜田宣教師指定」とご明記下さい。

ブラジル生活あれこれ

ハマダ・ファミリー

○けん 現在3人のブラジル人に日本語の個人レッスンをしています。忍術六段保持者の裁判官、独学で漢字を難なく覚える天才公務員、5ヶ国語を自由に操るカトリック神父。ブラジル社会の最先端で働く彼らに日本語を教えられる特権に感謝しつつ、私もポルトガル語のレッスンに励みます！！

○ようこ 第一期に比べて、日々の生活がずいぶん楽しくなったと感じています。主がこの国に根を下ろさせてくださっているのでしょう。でも日々の息抜きは、日本語での読書です！

○まりお (14歳) 「数学オリンピック」は学年トップで通過、フットサル選別チームでも徐々に頭角を現しています。



○ゆうき (11歳) おはなし大会ではカテゴリー別で見事優勝。年末年始の一時帰国で100歳の曾お爺ちゃんや親戚に会ったことを感動をもって語りきることができました。

○せいや (8歳) おはなし大会では日本の学校で体験したことを語りました。子供だけの徒歩通学、給食、掃除など。どれもブラジルでは味わえない日本の良さと思い出を語り、



一位のメダルをもらいました。(写真はジョジョと聖也)



○しょう (5歳) 今のブームは、三輪車ダッシュ、ママごと、お絵描き、昼寝前の絵本タイムです。お兄ちゃんたちに揉まれながらサッカーボールを蹴り始めるようになっています。



女性会の朝食会

日本同盟基督教団 ブラジル宣教師 浜田献、陽子／真理生、湧希、聖也、翔
住所：Av. Contorno, Bloco 1125, Casa 11, N.B.-DF. Brasília BRASIL CEP:71705-024
E-mail: kenyokomario@yahoo.co.jp 第二期 (2017.1～2020.12予定)